

教育支援教室「あるくの森」Q & A ～目的等に関すること～

Q1 教育支援教室「あるくの森」で目指すことは何ですか。

A 教育支援教室「あるくの森」では、一人ひとりの子供たちが、多様性を感じることでできる空間の中で成長することを目指し、多様な背景を抱える不登校状態にある児童・生徒が自らの進路を主体的に捉え、社会的自立（学校復帰を含む）に向かうことができるよう支援を行っています。

※「社会的自立」とは…

依存しないことや支援を受けないということではなく、適切に他者に依存したり、自らが必要な支援を求めたりしながら、社会の中で自己実現していくということ。（「生徒指導提要」 文部科学省 令和4年12月225p）

Q2 「つながり支援」、「こころ支援」、「まなび支援」とはどのようなものですか。

A 「つながり支援」とは、「子供同士」や「子供と大人」など、様々な人とのつながりを感じることができるようするための取組です。対面での取組に加え、メタバース空間を活用したオンライン上での支援も行っています。「こころ支援」では、教育相談員との定期的な面談の実施や健康観察アプリ等の活用により、児童・生徒の状況を把握し、一人ひとりに応じた適切な支援を実施しています。「まなび支援」とは、基礎学力を身につけるだけでなく、子供たち一人ひとりが興味のあることに問いを持ち、その問いについて学びを進めることができる環境を充実させる取組です。吹田市内の大学や企業などと連携する中で、様々な分野の体験活動も実施しています。